

町長日記



みかんの美味しい季節

やっと秋らしくなってきましたね。これからの季節はみかんの美味しい季節になってきますね。由良町では、10月の初めにはゆら早生みかん、10月中は温州みかん、2月は不知火、4月は甘夏、5月はさつき八朔と美味しい柑橘類が収穫されます。特にゆら早生みかんは、1985年に三尾川の山口寛二氏が宮川早生の枝変わりとして発見しました。そして、1993年に和歌山県農業協同組合連合会に品種登録出願し、1995年に登録されました。名前のとおり由良町発祥のみかんです。甘い中に適度な酸味があり、とても美味しいみかんで、私も大好きな柑橘の一つです。

今年も農協さんと一緒に、東京太田市場へゆら早生みかんのトップセールスに行ってきました。今年は夏の暑さが影響して色付きが遅くなっているみたいで、出荷が少し遅れているとのこと。セレモニーでゆら早生みかんのPRをさせていただき、試供品も仲買の方々にお配りさせていただきました。味をみていただいたあとにセリが始まると、一瞬で終了しました。これが飛ぶように売れるということかと実感したところでした。その後、長年にわたり取り扱いをいただいているお店を回ると、「近年は静岡、佐賀、熊本でゆら早生みかんが生産されているが、やっぱり由良のゆら早生みかんが美味しいね。」とお褒めの言葉をいただきました。ここまで来るのに、どれだけの農家の方々がご苦労されたかをお店の方から聞いて、改めて大変さを実感しました。これからも頑張る由良の農業を守ってってくださいね。よろしくお願います。

私は、農家の方々が丹精込めて作ったビタミンCたっぷりのみかんを食べて、ストレスや疲労を和らげたいと思います。

由良町長 山名 実